

令和2年4月1日

発行人 長野県民生委員児童委員協議会連合会
会長 伊藤 篤志

編集人 広報委員会
委員長 月岡 幽美子

〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号
(長野県社会福祉協議会内)

特集 台風19号被災地域の現状を聞く

Contents

- ◆ 特集：台風19号被災地域の現状を聞く …… 2~4
- ◆ 研修報告
児童虐待の現状と対応 …… 5
- ◆ 民児協訪問
東御市和地区民生児童委員協議会 …… 6
麻績村民生児童委員協議会 …… 7
- ◆ 〈報告〉
阿部知事との懇談会 …… 8

2019年10月13日に襲った台風19号（令和元年東日本台風）による被害は、甚大でした。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の特集では、災害から約3カ月、2020年1月9日に大幅に千曲川が決壊した長野市長沼地区を取材しました。全国民生委員児童委員連合会得能金市会長と、県民児童連伊藤篤志会長が、長沼地区の自治組織である柳見澤宏住民自治協議会会長、同地区民児協深瀬敏一会長らと懇談をしました。その内容を要約してお伝えします。

決壊現場付近は荒涼とした風景に

想定外の決壊による壮絶な体験を聞く

最初に柳見澤宏住民自治協議会会長に発災直後の様子と、復旧の苦勞をお聞きしました。

災害当日の様子

昨年10月12日午後、豪雨と強風で「ただ事ではない」と感じ、長沼地区には4つの地区があり、そのうちの赤沼地区でまず対策本部を4時半に設置しました。

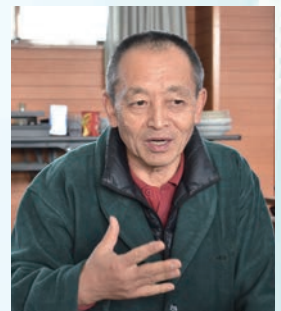


▲赤沼公会堂で懇談会の様子

そして津野・穂保・大町の3地区でもそれぞれの本部を立ち上げます。長沼地区は水への恐れについて先人より引き継いでおり、毎年6月29日に防災訓練を実施していました。他地区に比べて防災についての心構えはもっていました。

避難の方法は

結果としてよかったのは、弱者に対しての避難指示を早めに出すことができたことです。5時10分に避難勧告を出して、避難を進めるように呼び掛けました。毎年訓練してきたので、スムーズに避難できたと思われず。



▲長沼地区住民自治協議会会長 柳見澤 宏さん

柳見澤さん自身は

越水までは覚悟していました。車一台に家族と簡単な荷物を載せて豊野西小へ避難しました。13日の朝2時半に、中野市立ケ花の千曲川の水位を写すカメラが水で流されたという情報は入りましたが津野付近の堤防が決壊が何時かはつきりとはわからなかったのです。3時半にたぶん決壊したのではないでしょう。朝6時半に現場に行こうとしましたが、まったく通れず、隣地区の豊野までしか入れなかったのです。

安否確認は

安否確認がいちばん難しかったのです。どこへ逃げたかは、情報を地区に伝えないとわからないのです。自衛隊と警察がローラー作戦で一軒一軒つぶ

自身が家に入れたのは

15日です。軽トラに乗せてもらって戸を開けた時の情景は今でも忘れられない強烈なものでした。壁は落ちて物は転んで、泥や土が流れ込んで埋まっています。どう手を付けていいか途方に暮れました。そして、18日からようやく片付け始めたのです。19日の朝初めて決壊現地に行ってみました。決壊したのは津野と穂保の1帯で、正直、津波の後のような悲惨な状況に泣けました。



▲決壊現場津野地区の堤防から見下ろした視察の様子



▲リンゴ畑、出荷できずリンゴを落として



▲アップルライン沿いのリンゴ農家が大きな被害に

―行政とのやり取りは

10月15日に国交省が仮堤防を造ると説明に来ました。なにが原因でどこで、どう対応するのかをきくと示してくれと怒りをぶつけたのを覚えています。

20日に長野市の建設部と環境部の部長にお願いに行きました。穂保と津野に特別な人を入れて片付けるをお願いをした。一人配置いただきましたが、調査・計画・実施の手順となるのです。部ごとに縦割りで、まず調査して計画して実行しようとした。その時は正直、スピード感がなくいろいろなりました。

―片付けの現場では

災害から約1カ月は行政と災害廃棄物をどう片付けるかに終始しました。赤沼公園をとにかく廃棄物を置く場所に指定してほしいと言って実行しました。

道を確保して、場所を決めて廃棄物と泥を片付けることをやらないと生活を取り戻す意欲付けにはならないのです。こうした手順を知っている指示できる人が現場へ入るべきなのです。国から専門の人が入って全体を統括してどう動かすかをやりとりするシステムにしないと、市町村ではろくに明かないと感じました。

―ボランティアの活躍は

すごかった。15日に県と市の社協



▲赤沼区公会堂には支援物資が並ぶ

が相談に来ました。まず南長野に災害ボランティアセンターを置いて、その後支部を北にという話をしていました。災害がひどい地元ボランティアのサテライト拠点を作ってくれといったらすぐ必要なものはなにかを分かった上で動いてくれました。

11月の最初の3連休の前から「ONE NAGANO」という災害廃棄物を一気に片付けるオペレーションシステムが立ち上がりました。その時にボランティアが津野と穂保に20000、3000人入ってどんどん片付けて、そのパワーに圧倒されました。ボランティアに今回はすごく助けられたと感じながら今に至っています。

―発災から1カ月後の様子は

大町は早く普段に戻れそうな状況、津野や穂保は家や物が壊れ、赤沼は土や水がついた中でどうするか、4地区の足並みが揃わない。11月15日に長沼小学校で被災地域の住民集会をやりました。結果的に400人が集まりました。復旧を後押ししてくれる力になりました。住民が自分の家を離れた時に、どうまとまりを付けていくのが課題でした。

―今の課題は

災害発生から3カ月、今の課題はコミュニティ形成をどうするかです。だけれど場所と時間を設定していくことをしないと人は集まりません。仮設住宅4カ所を回りましたが、住んではないが、つながりができていないのです。これは問題だと強く感じています



▲決壊現場で説明をする柳見澤さんとそれを聞く伊藤会長

2020年1月9日取材



▲決壊現場付近は2重の堤防を築く工事が進行中



▲倒壊した家の梁が置き去りに



▲決壊現場目の前の体育館は床が流れ柱だけの状態

民生児童委員の動きと安否確認の課題

長沼地区民生児童委員会会長深瀬敏一さんと赤沼地区の長沼地区住民自治協議会総務・赤沼地区副会長西澤清文さん、長野市地域支えあいセンター生活支援相談員（前安茂里地区民児協会長）米山秀一さんにも課題をお聞きしました。

— 深瀬さん自身の状況は

深瀬さん 息子と別棟で平屋に住んでいます。13日午前1時半、枕と毛布を持って隣の息子の家の2階へ。子どもたちの仲間同士の情報で避難したという報せが入りました。車は5台持っていました。3台を残して乗り合いで避難所へ避難し、残した車は水没しました。

— 現在の長沼地区の民生児童委員の体制は

深瀬さん 長沼地区民生児童委員は8人です。12月の改選でそのうち6人が辞め、私を含め2人が残りしました。いま、1月20日に被災後初めて定例会をやることになりましたが、実際は引継ぎもできていない現状。災害後、新任委員候補の方からできないと言われ、欠員が出ています。また、大事な書類が泥の中に埋まってしまい、パソコンもデータもだめになってしまった方もいます。

— 課題は

西澤さん 13日の安否確認が反省点です。確認作業では、固定電話のみで携帯電話の番号が乗っていないことが問題でした。今もって完璧には



▲長沼地区副会長・赤沼地区総務担当 西澤清文さん

— 現在の住民の様子は

西澤さん 被災者は仮設住宅の他に、つかめていないのです。1050人407世帯ありましたが、現在は世帯数370で住人は1000人を割っていると思われれます。今後の防災訓練ではシステムとして安否確認をやる必要があります。

深瀬さん 昨年6月29日の防災訓練では、民生児童委員も住民の名簿をいただいています。4地区の要支援者ノートがあります。住所・電話、日中独居なのか、障害があるのかなど。連絡責任者や同居や息子はどこにいるかなど、毎年新しく調査して更新しています。長沼全体と、担当の赤沼地区は独自で地図を元に地震を想定した防災訓練をしています。安否確認については区や住民自治協議会で手分けしています。今回は民生児童委員が被災者となってしまう、連絡できませんでした。避難所へ行って名簿のチェックをしようという話もありましたが、千曲川が決壊して現場が混乱し安否確認が難しくなりました。今後は住民全員の携帯電話番号を共有するなど、情報を充実させるよう考えています。



▲長沼地区民生児童委員協議会会長 深瀬敏一さん

公営住宅、自宅の2階で生活、親せきの家に同居、他の市町村にも避難している状況。住民の2割ちよつとは自宅に残っています。出されている生活ゴミの数も増えてきて、少しずつ生活が戻ってきています。表札も郵便受けもなく解体の家も出てきました。

柳見澤さん まだこれから時間がかかります。避難所が12月で閉鎖となり、どこへ行ったか名簿を作りました。しかしそれをどう活用するのか…。

深瀬さん 公費解体を待つ人が増えているため、今はやることのない状況です。公費解体は2月から、景色が変わり状況が変わり、問題が発生すると予想されます。また廃棄物が出てくるのでは…。

— 仮設住宅の現状は

米山さん 仮設住宅調査をしています。全体の6割の68世帯、164人が入居しています。12月23日から全世帯を訪問しました。行っても会えない人がいて大変でした。仮設住宅の前にマットや郵便受けなどを提案しました。これからはコミュニティをどうつくるかが課題。ある仮設住宅は隣組長を選ぶところまで行っています。しかし3割は連絡が取れない状態です。



▲「子育て環境づくり部会」研修会の様子

児童虐待が増えていることは明確で、相談の総数は全国で平成2年には約千件でしたが、平成30年度で約16万件。制度改正で、通報が増え発見されやすくなったことも要因の一つ。県内の相談件数は平成24年では約千件、平成30年には2,370件に及んでいます。内訳としては心理的虐待が1,456件と6割。身体的虐待が518件、ネグレクト381件、性的虐待が15件となっており、全国と同じように増加しています。

児童虐待相談件数について
児童虐待が増えていることは明確で、相談の総数は全国で平成2年には約千件でしたが、平成30年度で約16万件。制度改正で、通報が増え発見されやすくなったことも要因の一つ。県内の相談件数は平成24年では約千件、平成30年には2,370件に及んでいます。内訳としては心理的虐待が1,456件と6割。身体的虐待が518件、ネグレクト381件、性的虐待が15件となっており、全国と同じように増加しています。

児童相談所広域支援センターについて
児童相談所で虐待の対応が増え

児童虐待は大きな問題となっており、県民児連「子育て環境づくり部会」は、昨年10月29日、県社会福祉総合センターで研修会を開催。児童相談所広域支援センターの主任児童福祉専門員、森美奈子さんに「児童虐待の現状と対応について」話を聞きました。内容の一部を要約して紹介します。



子育て支援シリーズ
児童虐待の現状と対応



児童相談所広域支援センター主任児童福祉専門員
森 美奈子さん

の中で、県下5つの児童相談所の虐待相談対応等の機能強化、人材育成や里親委託（家庭養護）の一層の推進のため、児童相談所広域支援センターは、専任・専門スタッフを配置する長野県独自の機関として、平成28年度に中央児童相談所に付置して発足しました。児童福祉司、児童心理司、保健師、児童安全対策専門員、児童相談所法務専門員（非常勤）、里親等委託調査員など6名を配置。29年には松本児童相談所に駐在として児童福祉司と里親等委託調査員を各1名配置しました。

児童福祉法・児童虐待防止法のポイント
児童虐待が増え続ける中、その対策として児童福祉法等の関係法令が順次改正され、法制度の整備が進んできました。
平成16年には、市町村の役割の強化、虐待防止の地域ネットワークである要保護児童対策地域協議会が法律で定められ、平成19年には、立ち入り調査等児童相談所の権限の強化が図られました。

また、平成28年度の改正では、子どもの権利という視点が、児童福祉法に初めて現れました。「子どもの権利条約」の精神にのっとり、子どもの有する権利を保障するための施策のひとつが、子どもが家庭で暮らせる権利に着目した、家庭と同様の養育環境である「里親、ファミリーホームの推進」です。

そもそも児童虐待とは

「虐待の定義はあくまで子ども側の定義であり、親の意図とは無関係（略）親はいくら一生懸命であっても、その子をか弱いと思っただけでも、子供側にとって有害な行為であれば虐待なのです（略）」子ども虐待対応の手引き（25年8月改正）より

民生児童委員へのお願い

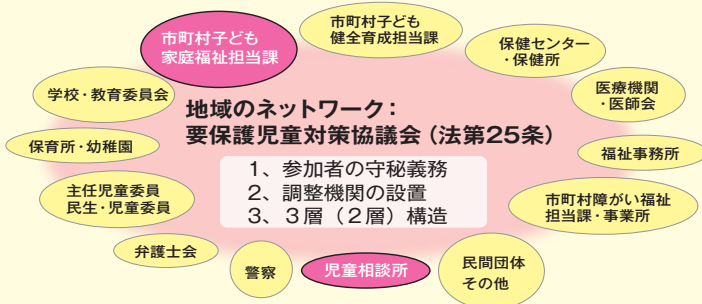
児童虐待は、さまざまな要因が複雑に絡み合って発生するといわれています。そのため、児童相談所や市町村だけで解決することは難しく、

地域の関係機関がネットワークを組む必要があります。民生児童委員はネットワークの一員であり、連携は欠かせません。児童相談所や市町村がより正確なアセスメント（評価と判断）し、有効な支援につなげるように、地域の具体的な情報をいただけるよう、ご協力をお願いいたします。

児童相談所広域支援センター
長野市大字南長野妻科144（中央児童相談所内）
電話：026-2388-8030（直通）
松本駐在
住所：松本市波田9986（松本児童相談所内）
電話：0263-9113310（直通）

地域の関係機関ネットワーク

要保護児童等の早期発見や適切な保護・支援を図るためには、関係機関が当該子ども等に関する情報や考え方を共有し、適切な連携の下で対応していくことが重要



訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

民児協
だより



東御市和(かのう)地区民生児童委員協議会



▲和地区ふれあい文化祭の舞台上で民生児童委員活動を芝居で発表

地域の文化祭のステージでお芝居を披露。楽しく民主的な民生児童委員活動を。

東御市の5つの地域の1つ「和(かのう)地区」は、浅間山を望み、緩やかな南向きの斜面にぶどう畑が広がる、明るく住みやすい地域です。

大谷美知子会長は「和地区ふれあい文化祭で、私たちの活動についてみんなでお芝居をやった」と説明します。15人の民生児童委員が協力し、2016年には特殊詐欺について芝居をやりました。

今回は、金さん・銀さん・しずさん、という3人のお年寄りが登場し、最終的に民生児童委員の活動を知ってもらうという内容。会場からは笑いも出て、大好評だったとか。今後も3年に1度、情報発信のため、ふれあい文化祭で発表していきたいと考えています。

東御市民生児童委員協議会の活動では、65歳以上の一人暮らしと高齢者世帯に生活の様子や緊急連絡先を聞くなどの台帳づくりの活動をしています。この地域には「湯楽里館」という温泉施設があり、高齢者へこの施設を含む市内の温泉券の配布を民生児童委員が担当し、見守り活動に役立っています。また、12月には社会福祉協議会主催のお節料理訪問事業に民生児童委員が協力し、お節料理を作って約140世帯に配布しました。

民生児童委員の先進地視察で学んだ浜松市の事例から、和地区では「救急医療情報キット」を提案・実践。救急車が来た時に、必要な情報を提示できる仕組みです。高齢者の健康づくりとしては、社会福祉協議会と協力して各地区



▲和地区民生児童委員のみなさん(前列中央が会長の大谷美知子さん)

でいきいきサロンを開催しています。前会長で、現在は東御市全体の会長白石幸男さんの存在も大きく、全委員が1年ごとに児童部会、高齢者部会、障がい者部会に所属し、市全体での研修にも積極的に参加しています。「民主的な運営をして、なんでも言い合える関係づくりを」と大谷さん。定例会には毎回、ちいさがた福祉会の運営するパン工房の手作りお菓子とコーヒーをおいしい、地域福祉に協力しています。

麻績村民生児童委員協議会



▲議員との研修会の様子

村や議員と連携。高齢者や子どもたちと、顔の見える心の通った見守り活動を。

東筑摩郡麻績村は、人口2,700人の小さな村です。なんといつても松本・長野・上田市からの車のアクセスがいい。村役場から麻績ICまでたった1分の位置。通勤圏が広いのも魅力で移住促進に力を注いでいます。聖高原スキー場を有し、聖湖ではグリーンシーズンは釣りやキャンプを楽しむことができます。別荘地も広がっています。民生児童委員は11人で、1人が

主任児童委員です。保育園・小学校・中学校は各1カ所。村発行の「広報麻績」の改選後の1月号には民生児童委員の役割が掲載され、全員の氏名と担当地区が紹介されました。

会長は飯森雅英さん、副会長は山岸今朝治さんと塚原富美江さんです。飯森さんと山岸さんほか4人が1期目とのことで、「定例会では全員が意見を言えて、アドバイスしあえるようにしたい」と、2期目の塚原さんと慎重に相談しながら運営を担っていくつもりです。

2017年春には、民生委員制度100周年を機に児童の登下校の見守りをスタートしました。月1回バス停に民生児童委員が2人ずつ立ち「おかえり」と声がけします。「こどもたちの顔が見え、先生とも親しくなれる」と塚原さん。実は子どもたちが遊びで道祖神に登っていたのを注意したことがきっかけで、その地に木曾義仲の馬にまつわる「ガッタリの観音様」という物語があったこと発掘し、学校で取り上げてもらうことに。忘れられないエピソードとなりました。



▲麻績村の民生児童委員の皆さん（前列中央が会長飯森さん、右が副会長山岸さん、左が塚原さん）

また、昨年は防災啓発プログラム「避難所体験ゲーム」を村議会議員と開催するなど、議員との連携で日ごろの民生児童委員活動を村政に生かす役割をつとめています。

日頃の見守り活動のきっかけとして、社会福祉協議会のお弁当の配食にも協力。安否確認に役立っています。定例会では、オレオレ詐欺、健康づくり、体操教室、ひとり親家庭、緊急時の対応など、熱心に意見交換をしていました。こうした活動が認められ、平成30年9月には優良単位民児協として県民児協連合会会長表彰を受けました。



表紙写真募集!!

表紙を作品発表の場、地域の紹介の場にと考えています。日ごろ写真を趣味にしていられる民生児童委員の方々、OBの方々の写真を募集します。自薦他薦は問いません。地域の風景やお祭りなどの風物詩がテーマです。

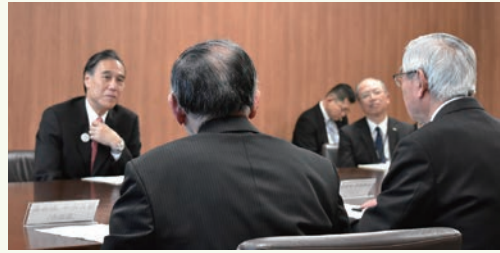
デジカメで撮った作品の電子データをCDRまたはUSBメモリーに入れて、撮影者のプロフィール、写真の内容に関する説明を添えて、つなぐ事務局までお送りください。

お問合せ 長野県民生委員児童委員協議会連合会事務局
TEL026-225-1613 メール nminji@nsyakyu.or.jp 〒380-0928 長野市若里7-1-7 長野県社会福祉協議会内



阿部知事との懇談会を開催しました！

2020年3月9日、長野県庁で、県民児連正副会長・理事・監事11人は、阿部守一知事と懇談しました。町田直樹地域福祉課長ほか担当職員2人、県民児連事務局2人も参加しました。



冒頭の知事のあいさつ (要約)

昨年の台風19号災害からの復旧復興に立ち向かっている皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。現在は新型コロナウイルスによる学校の一斉休業での子どもサポートが喫緊の課題。また災害に強い長野県づくりを進めたい。地域の支えあいマップづくりなど、地域の実情を熟知したみなさんと進めていかないといけない。支え合い、助け合い、絆が大事。地域のみなさんのサポート役、場合によっては取りまとめ役として協力をお願いしたい。

懇談 (要約)

★は知事発言

1

★台風19号災害の対応と課題は？

- ・長野市は、長沼周辺の被害が大きく、千曲川の決壊で支え合いマップなどの資料も流されてしまった。被災者の現状がつかめず、長沼地区7人の民生児童委員自身も被災し活動は再開できていない。
- ・上田市、浦野川沿いの河床より低い住宅が心配で、5人の独居高齢者に連絡。内、80代女性を連れ公民館へ避難し、その後一緒に自宅へ戻った。消防団との連携が必要。
- ・佐久市の入沢、常盤などが被災。有線避難を呼びかけた。自主防災本部を立ち上げ、区長、消防団と民生児童委員で避難が必要な家を挙げ、区役員と消防団が一組になって公民館など避難所へ誘導。32世帯71人が夜を過ごす。床上3、床下14世帯が被災。

2

★支え合いマップの作成状況や課題は？

- ・安曇野市では、6年前から全地域で、常会と区で作った。年2回修正を加えている。区長、常会長、民生児童委員と役員とで、個人的にどう助けるかも決めている。
- ・ハザードマップで、地域によってはイエローゾーンに避難所がある。災害の種類によって避難方法が変わることなど、教育でやっていくべき。
- ★広域避難など、大規模災害なら県が調整するなど考えないといけない。
- ・飯田では支え合いマップの前にふれ合いマップを作った。人間関係を知ったうえで、作れば機能する。
- ・隣組や近所の支え合いの人間関係作りが最優先課題である。

3

★民生児童委員定数の充足感はあるか？

- ・飯田市では2人減らされ対応に苦慮した。地域性もあり、一律での人数配分では厳しい。広い山の中と街は違う。
- ・上田市は自治会単位で選出している。担当戸数がアンバランスで最小30戸、最大350戸と担当戸数に大きな違いがある。
- ・国ではなく、県の単位で人数基準設定の方が合理的。
- ・行政区の見直しをしないと、定数の調整もできない。
- ・自治会自体の役員のなり手が少ない。自治会問題と表裏一体の課題。
- ★行政区は市町村が定めているため、民生児童委員からも市町村長さんへ要望してほしい。私からも聞いてみる。



4

★民生児童委員活動の周知

- ・昨年、県の広報紙に掲載していただき感謝する。今後も引き続き活動の周知をお願いしたい。県が民生児童委員を大事に考えていることを認識してもらうことは大事。
- ★皆さんの活動を県民に知っていただくことが、地域活動を活性化するのに重要。知事と民生児童委員との対談を記事にするなど広報の手段を検討したい。

昨年12月の一斉改選で広報委員が一新いたしました。前任の委員に負けないよう一丸となり、皆様の活動に役立つ情報などを提供していきたいと思っております。

(委員長 月岡 幽美子)



広報委員
リレー日記

今誌の特集は、災害から3カ月を経過した1月に被災地域の現状を長沼地区の自治会長、当地区の民生児童委員に取材した記事を掲載しました。

自分から被災しながら災害発生時からどのような行動をとられたか、行政と関わりながら時間の経過の中で変化してゆく地域の問題や住民の生活の中にある問題にどの様に向き合ってきたか、そしてその中で見えてきた今後の課題についてのお話を聞くことができました。

現在、住み慣れた地域を離れて暮らしてられる方も多数です。誰かが時間と場所を設定しないと人は集まらない。今こそ自助・共助・公助が求められています。人と人をつなぐコミュニティを形成し、一人一人が抱える生活上の問題を拾い上げる必要な支援につなげていく上で民生児童委員、地域支えあいセンター、行政、法律相談等が一体となって活動することの必要性を感じます。